



春よ。早く。早く。早く。

議 会 だ よ り

つなぐまち

3月定例会：3/1～3/23

町長所信表明「自律への地歩固めの年」	③
平成18年度予算質疑	④
一般質問(9名) 豪雪災害を質す	⑩
条例制定「子育て支援センター創設」	⑬
シリーズ私もひと言	⑳

発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 高橋 満 男
町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。



自律への地歩固めの
年にあつて

町長所信表明

本町は昨年、町制施行50周年を迎えるとともに、自律元年のスタートの年として、町民の皆様とともに、さらなる飛躍に向け、決意を新たにしました。

私は、町民各位のご支援をいただき町政を担当して4期目もと僅かとなりました。これまで「弱者優先、僻地優先」を政治理念とし、「保全」「再生」「創造」の3つのキーワードと「心の健康」「産業経済の健康」「生活環境の健康」を柱として、町づくりに邁進してきました。本町は、全国的に市町村合併が進められている中、自律の道を選択し、町民の皆様とともに自律計画を作成しました。平成18年度は、自律2年目として確実に自律への地歩を固めなければなりません。三位一体改革、地域経済環境等々自律への環境は厳しいものがありますが、幸い組織、団体には自主自律に向けての胎動が芽生え始めており、町民との協働で、創意と工夫、独自性を発揮し、「小さくても輝く誇りある町づくり」に向け努力したいと考えています。

私は、取り巻く課題を重く受け止めると同時に、これに対処することが私の責務であろうと思ひ、厳しい環境にあることは十分認識していますが、希望ある自律に向けた町づくりを進めますので、議会をはじめ町民各位のいっそうのご理解とご協力をお願いし、所信の表明といたします。

18年度予算総額

前年度対比0.4%減
123億5,278万6千円

会計別	予算額	前年比(%)
一般	56億7,000万円	4.03
国保	10億4,852万9千円	1.06
老人保健	14億7,074万8千円	▲5.74
介護保険	10億3,731万3千円	4.17
簡易水道	1億5,638万5千円	▲49.83
下水道事業	7億1,999万5千円	▲2.05
農業排水	2億6,122万6千円	4.52
病院事業	19億8,859万円	▲3.59
合計	123億5,278万6千円	▲0.4

特別会計66億8、278万円

前年度比：マイナス3.7%

国保会計は前年比1.06%増の10億1,852万円です。18年度の被保険者は5,600人と推計し、保険料は4年連続据え置きとなりました。国保料とあわせて徴収される40才から64才までの介護保険金は、年額2,000円の引き上げとなります。

国保 保険料4年連続で据え置き

下水道事業費総額7億1,999万円です。本年度は反

下水 終末処理場増設
工事着手

総額10億3,731万円は昨年対比4.17%増となっています。給付対象者やサービス利用の大幅な伸びが見込まれるため、介護保険・財政調整基金の繰り入れ等もおこなひ、月額200円の引き上げとなりました。

介護 介護保険料
標準3,200円に

病院運営費補助は昨年と同額の1億1,000万円です。本年は糖尿病専門外来も開設し、児童・生徒の疫学調査にも取りくみます。また、常勤の外科医師も来ていただけることになりました。

病院 糖尿病専門外来
開設

里口、津南原地内管渠布設工事が行われますが、流量増に備え津南浄化センターの増設工事を着手します。



生産拡大が期待されるプレカット工場

平成18年3月定例会が、3月1日から23日までの会期で開催され、町長所信表明から始まり、9名が町政を問う一般質問をしました。

議案は、平成17年度補正予算、18年度一般会計予算、特別会計予算等60議案、請願3件、議員発議5件を審議し、原案どおり可決しました。

平成18年度予算

一般会計前年対比4.0%の伸び

総額56億7、000万円

固定資産税
前年度比15.0%の減

一般会計総額56億7,000万円は前年度の当初予算対比4.0%の伸びですが、グリーンピアの取得、家屋の評価替等により固定資産税は15%のマイナス、町民税については、税法改正等によって、8.9%の増となり、町税全体では7.3%の減となりました。地方交付税は前年比2.3%増を計上、国県支出金は苗場木材加工組合のプレカット加工施設等で総額40.2%の増大となっています。町債は昨年とほぼ同額の3億1,000万円を予定しています。

子育て支援センター
開設

子育て支援の一環として、保健センターを活用し子育て支援センターを開設することが決まりました。常勤2人体制で、予算425万7千円の計上となっています。

プレカット加工施設
1億3,206万5千円

苗場木材加工協同組合が国の木質資源循環利用効率化事業を利用しプレカット加工用機械の導入を計画し、予算計上となっています。

健康増進施設管理運営
委託料2,160万円

クアハウス津南・サンビレッジは指定管理者として社会福祉法人苗場福祉会に運営委託が決まりました。公の施設としての目的をより向上させていただくために2,160万円の委託料を計上しました。

津南観光物産館他から
年間60万円の貸付料収入

(財)津南地域活性化センターは3月末で事業終了することとなり、4月から津南観光物産館及びホットワーク津南は普通財産として民間に貸付することとなり、年間60万円の貸付料となります。

質疑

町長施政方針及び 予算編成の基本方針に

津南醸造への 今後のかかわりは

吉野 徹議員

問 新しいスタッフでのスタート、津南醸造の現状と今後のかかわりは。
町長 現状では厳しい経営と考える。しかし、収支の改善努力が何われ、新体制のなかで新酒等の販売増加も見られる。町農業振興にも寄与しており、新しい技術、改善、加工等の可能性があれば支援も考

申請しやすい 就学援助制度に

藤ノ木浩子議員

問 法改正により、民生委員が認定に際して、意見を出すなどの「関与」はできなくなった。「制度お知らせ」チラシの見直しと、認定に際しての手続きを改めていただきたい。
教育長 今後は、様式も変え民生委員の手を煩わすことなく、本人の申請で教育委員会が適否を認定する。

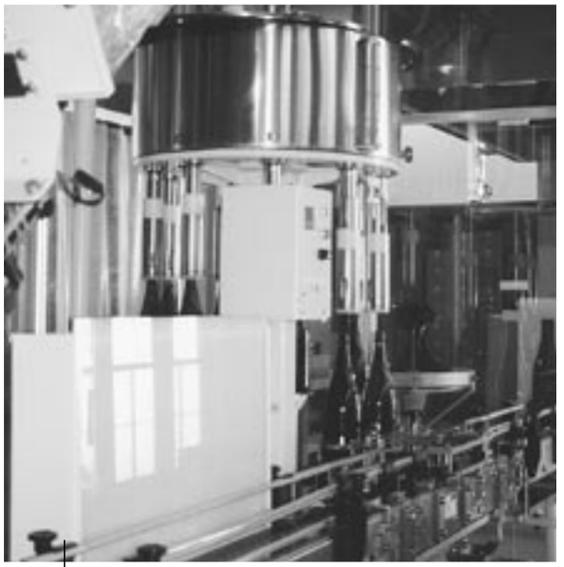


保育園内で遊ぶ子どもたち

災害危険回避の ハザードマップを

根津勝幸議員

問 地震、水害、豪雪と災害が続いている。危険回避防備のために作成するハザードマップの内容、予算について伺う。
町長 本年は洪水ハザードマップを作成する。信濃川浸水想定区域図を作り、できたものは関係地域に配布する。予算は防災費の印刷製本費の40万円を充てる。



新酒を仕込み、販売努力

高速通信体系整備の 進め方は

河田強一議員

問 後期基本計画にある、光ファイバーによる高速通信の取り組みについて伺う。
助役 NTTから光ファイバーを津南に布設したいという提案が示された。条件があり、採算ベースを考え、加入者数のまとまりが欲しいとのこと。数字がまとまれば19年後半には取り組めるだろうという話が出てきた。町民の意見を聞き、実施に向け検討したい。



まだ働きざかり

苗場福祉会への 業務委託は

津端眞一議員

問 苗場福祉会へのケアハウス、サンビレッジ業務委託料2、160万円の算出根拠と内容について伺う。
町長 会員も半減しており、営業努力は当然だが大きな収益は望めない。町民の福祉、健康増進施設としての運営となるが、指定管理者に大きな負担はかけられない。委託料の決定は収支計画を提出していただくなかで決定したものである。

管理職の58歳勧奨 退職は一考を

藤ノ木富有議員

問 年金の支給開始年齢の引き上げや改正高年齢者雇用安定法（65歳まで働ける制度の導入を企業に義務付けた法）が4月施行される社会状況のなか、勧奨制度は廃止すべきだ。
町長 管理職は人事刷新、職場の活力維持から慣例的に58歳で退職していただきたいが、年金支給年齢引き上げ等もあり、今後は総合的に検討が必要。

法令外団体への 天下りはやめよう

大平謙一議員

問 町は法令外団体へ大きな負担金を出している。各団体にそれぞれ叩き上げの職員がいる。職員のやる気をなくさないためにもやめるべきである。
町長 補助金については各団体の申請に基づき審査査定して決定している。役場職員が退職後に再就職する場合もあるが団体等の募集に応募したものである。

地方制度調査会の 道州制導入の答申

涌井幸一議員

問 道州制導入の中間答申を伺う。
町長 道州制の議論は加速していく。議論にあたっては国と地方の役割分担、広域自治体と基礎自治体である市町村の役割分担が一体的に示されるべきであり、道州の枠組みの議論を先行すべきではない。国民生活に大きく影響するので国民的議論を期待し、また、注視していく。

5期目の町政を めざす具体的な柱は

草津 進議員

問 希望ある自律に向けた町づくりの中身と実行内容を具体的に示せ。
町長 我が町は自律の町を選んだ。何を一番の心棒としなければならないか。「人間の絆を大事にすることが政治である」が私の基本である。住民の暮らしを守ることが原点であり、サービスの水準を守りながら新たに構築していく。



時代を担う、わが町の宝物



機具を活用、健康増進

自由質疑 案審議

3月14日、予算案に対し一般会計と特別会計について自由質疑を行い、その一部を掲載しました。

一般会計

バイアスロン国体の会場と運営は

問 09年のマウンテンパーク津南でのバイアスロン競技の国体会場が決定されているが、これに関わる、経費と人員体制は。

答 所管は教育委員会が担当する。片手間ではできないので、準備室体制をとる。費用については県の試算によると3,000万円くらいで、その内2,000万円が県、1,000万円が町の支出ということである。本番には、スキークラブ員、町職員で100人くらいの役員体制で臨む。

定率減税と 保育料の関係は

問 定率減税が導入されたとき保育料が急に安くなるように保育所徴収基準額を変えたと言っているが、それがどうなのか。また、定率減税が廃止されるが、逆に保育料が上がる現象が起きないように変えるべきではないか。

答 保育料の徴収基準は、かつては国が基準を定めていて、国庫負担もあった。しかし、国の基準もなくなり、一般財源化され、各市町村の判断により徴収することとなった。当町は当時の徴収基準を基に、町独自の徴収額を決めてきた。税制改正に伴い階層を変えることもあるが、全体の徴収基準は上げない。

定数条例と現職員数の 差があるが

問 定数条例では病院以外で199人、病院で120人となっているが、実際は病院以外で151人、病院で99人である。条例と実数に差がありすぎるのではないか。

答 条例の定数は上限である。定数と実人員数に相当の違いがあるが、時期を見て、早い段階で適切に且つ適正な定数に改正する。

安全な雪捨て場がない

問 現在の雪捨て場は、一般の人が捨てるには、車でのバックが非常に危険である。安全な場所に設けられないか。

答 信濃川河川敷が一番安価な捨て場であるが、一般の方々には押し出すブル等が必要ということもある。安全な場所ということになると、砂利採取場等も考えられるが、重機等の借り上げも出てくるので今後の問題として検討していく。



バイアスロン期待の江村 恵さん



危険を伴う雪捨て場

特別会計

下水道会計

公共下水道はいつ完了するのか

問 18年度は、反里口、津原の管渠布設工事の予定であり、20年にはニューグリーンピア津南より流入量の増加。津南浄化センターの増設着手というが、後何年で完了するのか。

答 今年度反里口工区完了。津南原工区についても堂平、津原附近まで本管工事は終了の予定である。来年度でグリーンピアの所まで本管管渠が延び、平成20年度にはグリーンピアの繋ぎ込みをする。浄化センターは21年度まで4ヶ年の実施予定である。

戸数の少ない集落はどうなるのか

問 美穂集落についてはどうなるのか

答 堂平集落から距離的に離れており、また、戸数の関係から合併浄化槽で対応する。

病院事業会計

オーダーリングシステムとは何か

問 予算の賃借料にオーダーリングシステムというものが1,104万2千円あるがこれは何か。

答 受診して診察料を計算したり、薬を処方した場合その処方箋が直接コンピューターに入力され、薬局と計算する医事に来るものである。医療報酬を請求するデータも一連のなかで処理するものである。



上田地区排水処理施設のプロア一室



はいがんばってね

療養病床の 今後の考えは

問 療養病床は将来的には、全国的に半分以下にするという方向が出ているが、療養病床について今後どのように考えるか。

答 平成15年7月にスタートして、利用状況が安定してきている。運用にあたっては老健施設、在宅介護支援センターとか打ち合わせもできてきて、スムーズに行っている。病院の機能としても、急性期があった療養病床があり、施設の連携というところで機能的にもこういう形が今後必要と考えている。

医師の退職手当の 支払い方法は

問 医師の退職手当はどういう形で支払われるのか。

答 医師の定年は65歳であり退職金は一般職員と同じように、市町村総合事務組合に積み立てをし、そこから支給される。臨時職員も同じである。



特別会計

介護保険

反対討論 藤ノ木浩子

介護保険で老後は安心などという人がいるのか。介護保険料値上げは高齢者の負担能力に関係なく増えていく、施設の食費、居住費の全額負担に本人も家族も耐えきれぬのか、介護の社会化をめざした制度はどこにいったのか、利用者の立場で自治体も、介護現場の声を国に上げてほしい。

病院会計

賛成討論 草津 進

地域に信頼され安心して受診できる病院づくりをめざす運営方針。4月から糖尿病の専門医、外科医の常駐と医師の確保に努められたことは町民の一番安心するところである。受付、会計、薬など待ち時間の短縮で利用しやすい病院等、サービス向上に留意され、在宅者への配慮がされている。



職員一同、安心・安全サービス向上

討論

(各会計)

一般会計

賛成討論 草津 進

少子化に伴う保育園の分園の統合をはじめ、複式学級への対応、2学期制の導入の実現に向けての準備が着々と進められている。特に子育て支援の一環として新年度から保健センターを活用した子育て支援センターの開設、暮らしの安定した町づくりを望み賛成とする。

賛成討論 河田 強一

税収の伸び悩みのなか、約4%増の予算である町単事業の継続、有利債を利用した公共事業等に取り組み、町民サービスが低下せぬように努力がなされた予算である。町長が述べられた小さくとも輝く誇りある町づくりに向けより一層の努力を願う賛成とする。



子育て支援に期待したい!!

人事

教育委員に

粉川正明氏



粉川正明氏

長年教育委員長の要職として活躍いただいた山下克利氏の勇退により、新しく教育委員の任命の同意が求められ、賛成多数で同意しました。

【粉川正明氏の略歴】

明治薬科大学卒業、保健堂薬局薬剤師、津南町体育指導員、津南町社会教育委員、津南町PTA連合会長、津南町生涯学習推進会議委員を歴任

賛成討論 富沢 春江

自然災害の多発と少子高齢化時代に行政に対する町民の期待は大きい。いかに町民に夢と活力を与えられるかが課題と考える。本予算において森林セラピー事業(観光)と冬期間の野菜等の雪中貯蔵、生産販売に研究費が計上されている。町民の新しい活力源の一つになることを期待する。

賛成討論 藤ノ木浩子

三位一体の改革による町への影響も大きいが、町民にとって税制改正による増税や医療改善が行われると約6千万円もの負担増となる。国民はじめの政治の嵐の中でも、自立津南の福祉はかろうじて守られているが、地方交付税を守り、住民を守る自治体として、国の悪政に批判を。



森林セラピー候補地の樽田ブナ林

お世話になりました



小林貞雄氏

平成16年10月から一年六カ月の間議会事務局勤務をさせていただきました。この間高橋議長さんが県町村議長会々長、全国町村議長会理事に就かれ全国的な場での活躍を近くで拝見し貴重な体験をさせていただきました。議長さんを先頭に地方分権が進むなか、自律の町づくりに議会の一層のご活躍をご祈念申し上げます。(税務町民課長へ)

よろしく
お願いいたします



山田卓夫氏

4月より、議会事務局長の重責を担うことになりました。日々進展し、変革している議会に対応するため、事務局職員は、議会運営の専門家となる使命を負っています。円滑な議会運営には専門的な知識が必要であり、早く専門家になれるよう努力いたしたいと考えています。議員諸氏を始め、町民各位のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

学校統合の議論の活発化を

教育長..19年度に検討委員会を立ち上げる

●草津 進議員

学校統合の 将来見通しの考えは

問 津南中等教育学校開校に伴う学校統合問題の見通しは、
教育長 中等校の流れを見て、19年度には検討委員会を作る。

豪雪報道による 津南町への影響は

問 「豪雪報道」により過疎、高齢化など、マイナスイメージが広がり、ますます若者の定着、定住が難しいと思うが、
自律計画の中でめざす10年後の人口1万3千人をどう進め、取り組んでいくのか。

町長 子供たちがこの豪雪の中で、スキー大会でさまざまな活躍をしていた。大変誇れる津南町の人間性である。自らが自信と誇りを持ち続けることが大事である。そのことが県内、国内に発信する大きな原動力であり、さらに国外に発信することが基本

である。町民と共に歩くことが重要だ。

(財)津南地域活性化 センターの今後は

問 健康増進施設として今までの実施ができるのか。
町長 健康増進施設としてより特化して町民の健康福祉向上に活用するため、指定管理者制度により運営する。



上郷中学校に入学する7名の生徒

農村を守る対策は

町長：新対策を活用しながら所得確保したい

●大平 謙一 議員

生産条件格差の 補填が必要

問 今回の品目横断的経営安定対策はWTO交渉で関税引下げが避けて通れないと予想されるための政策である。農家を選別するこの政策では農村を守れない。本格的なスライソ型所得補償を実施し、消費者に安く安全な農産品を提供することで米の消費拡大と減反政策解消にもなる。町の考えは、
町長 提案には賛成だが、それには現下の国県の財政事情では、まず、国民の理解とコンセンサスを得ることが重要である。

地域振興課長 輸入関税が下がれば対応しきれず、ゲタ対策の導入の可能性もある。国際情勢の変化に農政も対応する。



大豆の作況調査

2級町道の路線確保対策 今後の取組は

問 今回の豪雪で集落内町道の路線確保が問題になった。消防車、救急車が集落内の隅々まで入れるような除雪体制が大事だと思いが、町の計画は、
町長 冬の交通確保を必要とする主要幹線、各路線の重要性、交通量、除雪の可能性等を勘案して1種から3種、さらに機械除雪、消雪パイプ等の併用により実施している。集落内の住民の増減、居住者の実態、道路形状の変化等を勘案し、今後の防災計画、除雪計画の見直しを実施しなければならぬ。

活性化センターの解散について

町長：施設を健康増進のために特化したい

●伊林 康男 議員

指定管理者の選定と 管理基準は

問 選定基準、目的は住民サービスの向上や経費の節減を図ること、住民の平等利用の確保、施設の最大限の利用効果等が図られることにあるが、管理委託することにより、利用料金、利用回数、利便性等が現在より不利益にならないか。また、公共性の施設だけに管理経費の縮減にはならないと思われるがいかがか。
町長 クアハウス、サンビレッジは町民の健康維持増進施設として特化し、指定管理者に運営をお願いするものである。苗場福祉会は社会福祉法人で



苗場福祉会に管理がまかされたクアハウス

緊急時の共助の システムづくりを

問 今回のような豪雪では共助、地域コミュニケーションでの助け合いが最も有効と考えられるがいかがか。
町長 災害時の共助は重要な課題と認識している。孤立集落においては助け合いが発揮され対応した。今後も機会あることに集落機能の強化を助長していきたい。

木質ペレットの普及を

町長..新エネルギーの体験学習に利用

●村山 久一 議員

地元産森林資源の 有効利用を

問 我が国の国土の3分の2は森林といわれている。その資源はほとんど利用されていない。石油や天然ガス等の代替エネルギーとして注目され、各地で研究開発が行われ、すでに実用化されている。木材を粉砕して粒状に固めた木質ペレットは家庭の暖房用(ストーブ、ファンヒーター、床暖房、公共施設の暖房、チップボイラー)による蒸気タービンの発電等に開発、利用されている。山林王国である長野県ではすでに木質ペレットを燃料にした発電所が1箇所、木質ペレットの製造が2箇所稼働しており、学校をはじめ公共施設、一般家庭でも利用されている。町内にふんだんにある森林資源を有効利用すべきと思うが、
町長 代替エネルギー活用により地域環境を守ることは大



木質ペレットはそば屋さんでも活用

きな課題である。バイオマスエネルギー開発はすでに他市町村で進められており実用化されているところもあるようだ。当町でも小規模発電所について17年度に水利用検討協議会を発足して何箇所かの調査研究を行っている。すでに森林資源を生かした木質ペレットは、なじもんで生徒の新エネルギーの体験学習の場として利用している。

災害救助法のもと支援対象者を拡大せよ

町長：町単の要援護168世帯から332世帯に

●藤ノ木 浩子 議員

平年と救助法での 支援対象は明確に

問 今冬の異常豪雪の課題は人が足りない、機械が足りないであった。豪雪それ自体が災害の立場で、平年の要援護世帯の対象者と災害救助法適用のもとでの支援対象を明確にしておくべきでないか。

町長 要援護世帯の除雪支援は昭和56年より実施、認定には民生委員が協議し、厳正な基準を作りあげてきた歴史がある。救助法で自然落下式も対象にし、要援護168世帯から332世帯まで拡大した。**福祉保健課長** 要援護世帯は平年と災害条例適用の2種



町道に面した空家が危ない

を認定している。今年は秋山郷地域すべてと大場、所平地域も対象に広げ対応した。

融雪住宅の灯油代も 雑損控除の対象に

問 融雪住宅では、灯油代の値上がりと合わせ、この豪雪で1ヵ月20万円から30万円の負担となった。しかし、家屋の倒壊を防ぐ灯油代は、雪下ろし費用等の雑損控除の対象となっていないので、国に働きかけてほしい。

町長 豪雪地で生活するためにかかる必要な経費を理解してもらおうように、町村会、市長会と通じ、要請していかなければならないと思っている。

豪雪を乗り越え、自律する力強い町づくりを

町長：自信と誇りを持ち、安心して暮らせる町に

●樋口 松雄 議員

豪雪に負けない 住み良い町に

問 降り出した雪は猛烈な降り方で4mを超え、ニユースは「日本一の豪雪の町」として全国へ発信し続けた。縄文の昔から先人は見事な文化を築いた。すばらしいリゾートの町であることを報道人は見逃した。

町長 この町に住んで良かったと思える力強い町づくりの考えは。

持てる町、自然環境を生かし、農業、教育、社会福祉等、この町で安心して暮らせ、また、自らも参加し、汗するを基本に新たな町づくりを進める。

言葉のキャッチボール の状況は

問 外国人花嫁の悩みごと相談を長い間続けてこられた教育委員長にその活動内容を伺う。



外国人花嫁の学習の場

教育委員長 津南には外国からの花嫁は75名ほどおり、その悩みの多くは言葉であり、人間関係、家族内の問題、特に中心は子育てが多い。心は言葉から出てきていると思う。言葉のキャッチボールは9年目を迎え、お互い本音を出し合い、いろんな悩みごとを言える場所になりたい。結婚した後のフォローが大事である。今後も町とタイアップしたなかで続けていく考えである。

豪雪への対応策を示せ

町長：機械の借り上げも、今後の検討課題

●吉野 徹 議員

町独自に除雪重機の 配置ができないか

問 今冬に県から配備された除雪重機は住民にとって大きな役割を果たした。来冬から町独自に配備できないか。

町長 豪雪を考えると機械を借り上げ配備する必要があると思うが、今後の検討課題である。

問 交通規制になった国道405号の新年度事業と対応策は。

町長 第1、第2スノーシュード間の雪崩対策及び抜本的な道路改良、雪崩対策等の調査、検討がされる。町としても関係住民のコンセンサスを得る努力をしていく。



公民館前を除排雪するバックフォア

問 マスコミによる風評被害策として新しい観光企画が必要と思う。津南・栄村観光協議会のキャンペーンが3月26日に実施されるが、支援金を出す考えはないか。

町長 できるかぎりの支援を考えている。

問 最も影響が大きかった町商工業者への町の融資制度の新設と関連融資に対して全額利子補給できないか。

町長 融資の新設は産業育成資金の現状を把握し、商工会と連携するなかで検討する。豪雪関連融資の利子補給は制度の利用状況をみて前向きに検討する。

津南病院の今後の方向性は

町長：病気の予防のため疫学調査に取り組む

●藤ノ木 富有 議員

予防・初期治療・ リハビリは重要!!

問 医療環境が大きく変化していくなか、地域医療の根っこを支える津南病院のめざす医療の方向は。

町長 新年度から生活習慣病の予防と治療に力を注ぎたい。慈恵医大教授の協力を得て、原因や発生状況を調査、研究する疫学調査に取り組みたい。児童生徒の血液検査をし、生活習慣病の基本から考える。

◆4月から糖尿病専門医の週1回診療がかなうので糖尿病専門外来として診療を行う。◆リハビリ部門の充実にはこれまでも努めてきたが、作業療法士の資格者が少なく採用が難しい。

文教の町にふさわしい 環境整備を

問 中高一貫校「県立津南中等教育学校」開校にあたり、



中等教育学校入学式に向う新入生

町全体で受け入れる準備が大切である。地元とともにどう環境整備を進めていくのか。また、今後の教育の方向付けはどうするのか。

町長 既存の小中学校と連携を深め、互いに切磋琢磨できる環境をつくるのが大切。子供の健全育成に商店街「おかみさんの会」の協力を得たい。少子化の現実を直視し、19年度に有識者検討委員会を立ち上げ、方向性を明確にしたい。

請願陳情意見書

本定例会に請願 4 件提出され 3 件を採択、1 件を継続審議とし、議員発議による意見書 5 件を国に提出いたしました。

患者、国民の医療費負担増の中止を求める請願

請願者／「06年医療改悪反対」新潟県民運動実行委員会
代表／坪谷 誠・目崎 静江・山田 芳龍
採択意見所提出先／内閣総理大臣・財務大臣・厚生労働大臣

意見書の要旨

現役並みの所得がある70歳以上の窓口負担を10月から現行の2割を3割に引き上げ、療養病床入院患者の住居費・食費の自己負担化、75歳以上を対象とした新たな「高齢者医療制」の08年4月からの創設、保険料の年金からの天引きなど、高齢者の負担増は生活に大きな影響を与えかねない。よって患者、国民の医療費負担増の中止を求める。



高額な農地の除雪費用

豪雪地における除雪経費の軽減措置を求める意見書

採択意見書提出先／内閣総理大臣
防災担当大臣
財務大臣・総務大臣

意見書の要旨

豪雪地帯の雪下ろし費用等の「雑損控除」については人夫賃、機械借上料などが認められているが、融雪屋根の熱源代は認められていない。融雪屋根も人力、機械力と同じ機能であり熱源代も対象とすること。また、住宅周辺や店舗・農地・農業施設等の除排雪用の軽油については軽油取引税を課税免除とすること。

道路特定財源に関する意見書

採択意見書提出先／内閣総理大臣
財務大臣
国土交通大臣

意見書の要旨

政府においては、地方における道路網整備の実態とその必要性を認識され、その財源を確保する道路特定財源制度を堅持し、地方の道路整備が遅れることのないよう強く要望する。

関税引き下げとミニマム・アクセス米の拡大を許さず、食糧自給率向上と地域農業の振興を求める請願

請願者／農民運動新潟県連合会
代表／町田 擴
採択意見書提出先／内閣総理大臣・農林水産大臣
外務大臣・経済産業大臣

意見書の要旨

食料自給率が40%という事態にある我が国にとって、WTO交渉にあたっては、高関税品目の関税引き下げや、ミニマム・アクセス米の輸入枠拡大を行わないこと。

「品目横断的経営安定対策」にかかわる請願

請願者／農民運動新潟県連合会
代表／町田 擴
採択意見書提出先／内閣総理大臣・農林水産大臣

意見書の要旨

品目横断的経営安定対策を見直し、意欲ある全ての農家を対象に価格保障を基本とした経営安定対策の実現と、地域の実情を踏まえた多様な担い手を確保するための施策を強めること。

条例制定・改正・廃止

3月定例議会に提出された条例の制定、改正はすべて原案どおり可決されました。その一部を紹介します。

津南町子育て支援センター条例の制定

この条例は子育て家庭に対する多様な支援を実施し、町民が安心して子育てできる環境を整備するための条例で、子育て支援センターを、保健センター内に設置致します。

津南町職員給与に関する条例の二部改正

今回の改正は、17年度人事院勧告により、地域給が導入され、それに伴う給与構造改革に準拠し改正するものです。主な改正点は、①給与月額を平均4・8%引き下げる。ただし激変緩和措置として、改正後の給与月額に達するまで現給を保障。②行政職1給料表を8級制から6級制とするなどの改正です。

指定管理者制度に伴う条例の制定改正

町が管理する公の施設に指定管理者を指定し、業務を委託するため、各施設の設置及び管理に関する条例を制定・改正・廃止したものです。

《条例を制定改正した施設》

津南町健康増進施設（ケアハウス、サンビレッジ）高齢者生活福祉センター、美雪町集落開発センター、津南町テレビジョン共同受信施設、所平克雪管理センター、津南町地域駐車場、津南町在宅介護支援センター、津南町多目的広場

《条例を廃止した施設》

山伏山森林公園、林業会館は普通財産へ。

《指定管理者制度とは》

町には公の施設（町民が平等に誰でもいつでも利用できる施設）と一般施設があり、公の施設は従来公的な諸団体に限定されてきた管理委託制度が、純粋な民間企業等によって管理運営されることが可能になった制度です。

その他の条例

○津南町国民保護対策本部及び津南町緊急対処事態対策本部条例の制定

○津南町国民保護協議会条例の制定

この2つの条例制定は、武力攻撃に対する国民の保護に関し、国の法律に基づき、各対策本部および、協議会に關して必要な事項を定める為の条例です。

○津南町介護条例の一部改正
介護保険料の改正で、1人当たり標準額を3,000円から3,200円に改正しました。

○津南町農業廃棄物処理場設置条例の一部改正

この条例は畜産農家での死亡畜の処理料金の改正です。
○津南町簡易水道及び小規模水道条例の一部改正
津南町簡易水道に上郷逆巻地区が加入するための改正です。



サンビレッジも指定管理者へ

産業建設常任委員会
●委員長 吉野 徹

委員会 Committee

Report レポート

総文福祉常任委員会
●委員長 草津 進

記録的な豪雪道路、除雪、状況調査



建設業者による屋根雪除雪(大場)

昨年の暮れから降り続いた記録的な豪雪のなか、委員会は去る1月7日に道路除雪状況調査を実施しました。かつて経験したことのない大雪、雪の壁で薄暗く圧迫感さえ感じさせられるなかでの道路状況調査でありました。

大場、所平集落を視察した後に今回孤立が余儀なくされたR405号の秋山郷大赤沢まで視察しました。R405号の津南側の見玉から大赤沢間の沿線に69世帯199人、栄村は124世帯301人がいます。

大赤沢の住民との話の中に機械除雪の必要性、ボランティアを含む自衛隊の協力要請など悲痛な要望がありました。



豪雪から家を守る住民(穴藤)

1月8日から道路規制となり、見玉、結東間が全面交通止めとなりましたが、予測さえ感じさせる視察でありました。

豪雪時の対応策としてライフラインの見直しや整備、除雪機械の増強、援護世帯へ医療を含む支援策など早急な対応が迫られる視察でもありました。

委員会では今冬の豪雪経験を町づくりの課題の一環として進めていきたいと思っております。

今冬の豪雪において国県並びに他市町村から心温かいご支援とご協力をいただきまし



TV局各社による報道車

津南中等教育 学校がスタート

新たに津南町に開校する中等教育学校をはじめとする教育問題について教育委員との懇談会を開催いたしました。少子化、中等教育学校開校に伴う学校統合、複式学校級に対する対応について意見交換をいたしました。この地域の教育が大きく変わってきます。津南高等学校の募集停止によって大きな問題、特に通学等の足の確保であります。バス路線、時間の変更、飯山線の車輛の増設、中等教育学校への通学手段など、実態に基づいた対応が求められます。委員会でもこのような諸問題に対応し、また、要請して教育の充実に努めます。



夢と希望を胸に81名入学

平成18年度 津南病院運営方針

津南病院長との懇談会を開催し、現状について話し合いを行いました。

目標 「寝たきりゼロをめざし健康寿命を延ばす」が目標であります。

運営方針 プライマリケアと予防医学を運営の柱として「地域に信頼され安心して受診できる病院づくりをめざす」が運営方針であります。

生活習慣病の予防と治療に努めるため生活習慣病講座、出前講座の開催であります。禁煙外来の継続、土曜・時間外診療等を進めていくことが町民に安心を与えるところで、高齢化等への対応として、長期入院患者に「療養病床」の活用も図られています。往診、訪問看護等の在宅者へのサービスの向上、医師の確保に努めています。町民に信頼され、利用しやすい病院に努力していることに感謝するものでした。





シリーズ・町民の声 私もひと言

「子供たちを、私たちより、ほんの少し、 ちゃんとした大人にするために」

陣場下 大平 武司さん

私はよく、中学生の登下校の様子を眺めています。小さい子、大きい子、おっさんみたいに貫禄のある子と色々です。皆どんな大人になるだろうなどと考えています。そこで一つ気になることがあります。国道を渡る横断歩道です。生徒が待っていても止まる車がないのです。朝夕の通勤時間帯、ドライバーも時間がないのでしょうか。しかし、思い出してください。免許を取る時、第一に歩行者優先を教えられますし、横断者を無視すれば一発

で検定中止、免許はもらえません。私自身も偉そうなことは言えませんが10台も20台も止まらずに過ぎていく車を見ていると「免許証を返せ？」と言ってしまいます。子供を守るために信号機や歩道橋を作るのですか？いやその前に私たちのすべきことは、今ここにいる子供たち、横断歩道に人がいたら車を止めることのできる大人、私たちより少しだけちゃんとした大人に育てることです。そのためにどうぞブレーキを踏んで下さい。



「期待と不安」

反里口 樋口 美和さん

この春から、長男が新しくできる津南中等教育学校に入学が決まり、期待と不安に胸を膨らませています。

ゆとりある学校生活の中で6年間一貫した教育を行う学校として注目され、津南町にこの学校ができたことを嬉しく思いますが、小学生にして受験という厳しい経験も致しました。何回か学校説明会が開催され、県内で中高一貫を取り入れている学校の実績等を聞きましたが、不安なことも多

少あり、もう少し話し合いや意見交換の場を設けてほしかったように思います。

学校側からは、初年度としてのプレッシャーの重さに対し、一生懸命がんばっていかこうとする意気込みや姿勢が感じられました。

これからの学校運営のあり方と、先生方、保護者の活動の中に子供達の成長がきちんと伴うことを望みます。

町に高校を存続されたことに感謝致します。



6年生 卒業おめでとう

どこの自治体でも安心して子育てできる町づくりは大きな課題です。そして国が憲法に基づいて、「義務教育費は無償」を実施すべきではないでしょうか。
(浩子)

小、中、高、大学生をもつ親としては、年々、教育費への出費が膨らむことに頭が痛みます。この3月末に息子が小学校を卒業、頭痛のたねは、さらに強くなってきました。こんな思いでいる時、北海道の三笠市では、子育て支援として、小学校の子供らの給食費を全部自治体が負担するという政策をうち出しました。すごいですね。
近隣の魚沼市では、子供の医療費助成を、いよいよ小学校卒業まで助成する方向が示されたようです。

編集後記